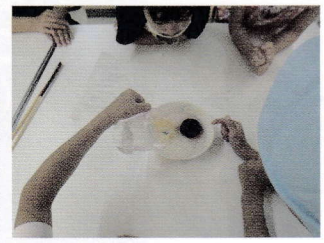
(2) わくわく科学実験教室1・2年生は、24名が参加し、「かたまる秘密」について学びました。寒天とゼラチンを使ってゼリー作りをし、寒天は熱に強く、ゼラチンは熱に弱いという違いを知ることができました。児童の感想では、「ゼラチンとかんてんのちがいがわかったし、ゼリーもかんたんにつくれてたのしかったです。」「おうちでゼリーをつくってみたいです。」などがあり楽しく体験ができました。



(3) もちつき大会では、5年生が 10 月に稲刈りをしたもち米で、PTA 学級委員の皆さんのご協力のもと、全員が杵を持ち、もちをつきました。初めての経験の子がほとんどでしたが、周りからの大きなかけ声に後押しされて、上手につくことができました。つきたてのおもちはおいしく、たくさんの子どもたちがお代わりし、見事完食しました。

〈校外生活支援委員会〉

理　　事：青木樹志・髙谷敬之助・三吉博之
運営委員：西村民子・内林ひさ子・青木広一

校外生活支援委員会では、日ごろの子どもたちの登下校の立ち番をする中で、通学マナーが守れているかの○△点検を実施しました。

また、今年度は夏休み防災教室(8/7)を開催しました。子ども27名、保護者4名の参加がありました。湖南中央消防署から3名の消防士さんをお招きし、地震・災害の DVD 視聴(20分間)をしたあと、消防士さんより防災のお話をしていただきました。わかりやすい説明に、子ども達も保護者も興味をもって聞くことができました。その後、外に出て水消火器体験・消防車見学・消防服試着などを体験することができました。水消火器の体験では、「火事だ！」と大きな声で叫ぶ子ども達の姿が見られました。外での体験の後は、部屋に戻り、非常食(缶詰に入ったパン)の試食もし、おいしくいただきました。

児童の感想では、「いろいろなことが知れて、うれしかった。」「じしんのときの食料は大切だと思いました。」「消火器は10～15秒しか出ないことがわかった。」「もっと災害が起きた時の用意をしたい。」「一番大切なことは、“自分の命は自分で守る”ということだと思いました。」などがありました。普段なかなかできない貴重な体験をし、防災意識が高まったことを感じました。

〈運動場の芝生管理〉

石部小学校校庭の芝生を育てる会は運動場の芝生の維持管理の業務委託を湖南市から受け、その構成団体のコミュニティスクールも、芝刈り、肥料散布、冬芝の播種などを実施しました。＊右写真は、冬芝の播種後のスプリンクラー稼働のようすです。

〈賛助会員様への御礼〉

石部小学校コミュニティスクールの賛助会員様から今年度は、232,000 円(R2 年 2 月 29 日時点)の賛助金が集まりました。誠にありがとうございました。今後も子どもたちのための事業活動に役立てたいと思いますので、引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申しあげます。